

「棒踊り」伝承の取組

1 学校名 日置市立伊集院北小学校

2 学年・人数 4・5・6年生（計64人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成26年6月30日（月）～9月25日（木）（本校体育館及び校庭）

(2) 発表の日時・場所

平成26年9月28日（日） 運動会（校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

棒踊り（ぼうおどり）

(2) 由来

日置市伊集院町上神殿に大正時代頃に伝承されたといわれている。青年団を中心に昭和30年代中頃まで盛んに踊られ，特に子どもの日には，地域にある日枝神社に奉納し，その後，地域を踊って回っていた。

しかし，年々廃れていくようになり，なんとか後世に伝承していきたいという強い要望を受け，約10年前から伊集院北小学校で踊りを伝承し，成果を運動会で披露している。

(3) 構成等

六尺棒を持つ者が黄色い法被，三尺棒を持つ者は赤い法被を着て分かれる。歌い手の1番から3番まで歌に合わせて，互いに力強く打ち合いながら大きなかけ声を出す。

5 保存会や地域との連携の具体

上神殿の「棒踊り保存会」の代表者2人を招き，練習を行っている。また，本番の歌い手もお願いしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々から教職員に指導法を教授いただき，職員も指導できるようにしている。また，踊りの様子を記録したDVDを練習の参考としている。

練習初期段階では，6年生が4年生に教えるようにし，先輩から後輩に伝授していくという棒踊りの伝統を受け継いでいる。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）

6月下旬から9月にかけて練習を行っている。教職員，保存会の方々が中心に指導を行っている。棒を回転させる，しゃがんだり立ったりする動作のタイミング，他の児童と息を合わせるところが難しいため，何度も繰り返し練習を行っている。成果を運動会の場で発表しており，多くの地域住民等の観覧の中，堂々と踊る姿は，伝統芸能の継承活動を生かした地域づくりにつながっている。



運動会での発表

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

きつい動作を何度も繰り返したり，速いテンポで踊らなければいけないので，疲れてくることもあった。足と膝を地面に着ける動きやかけ声を十分意識して踊ることが難しかった。でも，うまく息が合った時はとてもうれしく，踊りが楽しくなった。また，運動会の本番で上手に踊れて，多くの方に拍手をいただいた時は，頑張ったよかったという気持ちでいっぱいになった。（参加児童）

この踊りは上級生が下級生に教えている。これからも地域に伝わる棒踊りをしっかり下級生に伝えていきたい。（参加児童）

上神殿に残る伝統芸能である棒踊りを子どもたちが受け継いでいることは，大変うれしく思う。子どもたちの堂々とした姿を見ると感動を感じる。これからも，ずっと続けてほしい。（保護者）

10年前に学校に依頼してから，ずっと棒踊りを踊り続けていることは，保存会として大変ありがたく思っている。子どもたちからお礼の手紙をもらったり，あいさつを交わすなど，指導し続けてきて良かったと思う。これからも，地域に残る郷土芸能や伝統行事を保存・伝承し続けていってほしい。（保存会）

保存会の方から指導法を御教授いただきながら，子どもたちに指導してきた。複雑な動作を指導するのは難しいが，私たち自身も勉強になった。これからも子どもたちとともに棒踊りを踊り続け，受け継いでいきたい。（教員）